

資料提供(投げ込み) 令和2年1月6日(月)	
場所 津市政記者室	
事務担当課	
所 属	職・氏 名
消防本部 予防課 (電話059-254-0356)	違反指導担当副参事 上野 功英

## 令和元年の火災・救急・救助概況について(速報)

令和元年中の津市内における火災・救急・救助概況の速報は、下記のとおりでした。(令和元年中の数値は速報値となります。)

### 記

#### 1 火災(担当:予防課/電話059-254-0356)

令和元年中に市内で発生した火災は115件で、そのうち住宅火災は27件でした。また、火災による死者は4人で、住宅火災による死者は3人でした。

火災原因については、全体では「たき火」、「放火の疑い」、「たばこ、こんろ(同件数)」の順に多く、住宅火災では、「たばこ」が最も多く、続いて「こんろ、配線器具(同件数)」でした。

これを踏まえ、たき火からの延焼や、寝たばこ、こんろの消し忘れなど、少し注意すれば防げる火災を起こさないように広報紙やイベント等、機会を捉えて広報するとともに、住宅火災での逃げ遅れによる死傷者を無くすために、住宅用火災警報器の普及啓発に努めていきます。

#### (1) 火災概況

▲は減を示す

区 分		令和元年	平成30年	増減
火災件数合計(件)		115	135	▲20
火災 種 別 件	建 物 火 災	54	54	0
	(内)住宅火災	27	33	▲6
	林 野 火 災	6	5	1
	車 両 火 災	10	11	▲1
	その他の火災	45	65	▲20
死 者 (人)		4	5	▲1
(内)住宅火災		3	3	0
負 傷 者 (人)		10	11	▲1

(2) 参考（平成22年以降の年間火災件数）

年	件数
令和元年	115
平成30年	135
平成29年	121
平成28年	112
平成27年	117
平成26年	122
平成25年	168
平成24年	127
平成23年	108
平成22年	110

2 救急（担当：消防救急課救急担当／電話059-254-1600）

令和元年中の市内における救急出動件数は15,899件で、前年と比較して546件の減少となりました。

事故種別でみると、例年同様急病が10,101件と最も多く、次いで一般負傷の2,589件、交通の1,161件の順となっています。前年と比較すると出動件数は減少したものの、過去10年を見ると救急出動件数は全体的に増加傾向にあります。

消防本部としても救急搬送体制の充実・強化に取り組んでいますが、救急車の適正利用にもご理解とご協力をお願いします。

救急車を要請するか迷った場合には、三重県救急医療情報センターや津市救急・健康相談ダイヤルに相談して下さい。

(1) 救急概況

▲は減を示す

区 分	令和元年	平成30年	増減
出動件数（件）	15,899	16,445	▲546
搬送件数（件）	14,482	14,934	▲452
不搬送件数（件）	1,417	1,511	▲94
搬送人員（人）	14,609	15,078	▲469

(2) 救急種別件数

（単位：件） ▲は減を示す

種 別	令和元年	平成30年	増減
火 災	12	13	▲1
自然災害	3	13	▲10
水 難	14	10	4
交 通	1,161	1,325	▲164
労働災害	153	146	7
運動競技	77	81	▲4
一般負傷	2,589	2,537	52
加 害	52	67	▲15
自損行為	102	173	▲71
急 病	10,101	10,430	▲329
そ の 他	1,635	1,650	▲15
合 計	15,899	16,445	▲546

(3) 参考（平成22年以降の年間救急出動件数）

年	件数
令和元年	15,899
平成30年	16,445
平成29年	14,901
平成28年	14,716
平成27年	14,306
平成26年	14,229
平成25年	14,196
平成24年	13,849
平成23年	13,066
平成22年	12,224

3 救助（担当：消防救急課消防救助担当／電話０５９－２５４－１６０１）

令和元年中の市内における救助出動件数は１８７件で、前年に比べ４９件増加しました。

救助出動の原因で最も多かったのが交通事故の８２件で全体の４３パーセントを占め、過去数年、原因のワースト１位です。

また、近年増加傾向の建物等による事故は５３件発生しています。その多くは、高齢者が建物内に居るが外からの呼びかけに応答がないというものでした。

(1) 救助概況

▲は減を示す

区 分	令和元年	平成３０年	増減
出動件数（件）	187	138	49
活動件数（件）	112	93	19
救助人員（人）	116	96	20

(2) 救助種別件数

（単位：件） ▲は減を示す

種 別	令和元年	平成３０年	増減
火 災	1	2	▲1
交通事故	82	71	11
水難事故	17	8	9
風水害等自然事故	0	0	0
機械による事故	3	3	0
建物等による事故	53	30	23
ガス及び酸欠事故	0	1	▲1
破裂事故	0	0	0
その他の事故	31	23	8
(内) 山岳	11	3	8
合 計	187	138	49

(3) 参考（平成22年以降の年間救助出動件数）

年	件数
令和元年	187
平成30年	138
平成29年	129
平成28年	137
平成27年	105
平成26年	126
平成25年	130
平成24年	113
平成23年	116
平成22年	118